

令和7年度 学術講習会開催のお知らせ

公益社団法人 岐阜県鍼灸マッサージ師会

会 長 松 尾 将 典

学術部長 岡 西 裕 幸

岐阜県下に在住するはり師・きゅう師、マッサージ師の会員が集まり、医療・保険・介護・福祉の一翼を担う一員として、地域社会の中で国民のニーズにより密着したあ・は・き師を目指し東洋療法が21世紀にもとめられる医療として、私たちが医療人として、より一層の意識向上に努めることを目的に開催するものです。

今年度は、まず第1回7月27日（日）長谷川吾朗先生をお招きし、「長谷川流鍼灸メソッド」と題された講演会を実施いたしました。多くの方に受講いただきました。（後述報告参照）

日 時	講 演 内 容	講 師
令和7年 10月26日(日) 10時～	ハートを驚掴みの施術と治療院経営	(公社)福岡県鍼灸マッサージ師会 前会長 古賀 慶之助 先生
11月30日(日) 10時～	刺さない鍼で親子の心身を整える	ゆうべファミリー治療院 院長 夕部 智廣 先生
12月7日(日) 10時～	難病について	出口 一樹 医師
令和8年 2月22日(日)	市民健康講座	医師未定
10月19日(日) 14時～	演題未定 保険師会飛騨ブロック・県師会飛騨ブロック 共催 市民開放講座 (高山市民文化会館 講堂)	Mこころクリニック 院長 垣内 無一 先生

上記講演、すべて参加費無料です。会員・会員外、誰でも受講可能

参加希望 090-5634-0207（広報・樋口）または gskm4189@gmail.com

詳しいチラシは、県師会ホームページへアクセスしてください！



令和7年度全鍼師会 第70回中部ブロック研修会議 報告

報告 樋口 淳一

令和7年度全鍼師会中部ブロック研修会議は、長野県が当番県を務め、去る7月13日(日)・14日(月)の両日、長野県松本市「ホテルモンターニュ松本」にて開催されました。

本会議には、愛知・三重・静岡・長野の各県師会より会員が参加し、盛会のうちに終了いたしました。

岐阜県からは、会長 松尾将典氏、副会長 樋口淳一氏、会員 山田敏雄氏の3名が出席しました。

第1日目 7月13日(日)

13:00より、長野県はり灸マッサージ師会 副理事長・石原敏晴氏の司会進行により開会。

開会の辞は、同副理事長 猿谷久雄氏より、歓迎の辞は理事長・臼井武文氏よりそれぞれ述べられました。

続いて、各県師会長の挨拶の後、来賓としてご出席された公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会副会長・狩野裕治先生よりご挨拶を賜りました。



13:30～15:00 基調講演

- ・演題：「鍼灸マッサージの今後の展望」
- ・講師：公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会
副会長 狩野 裕治 先生

講演では、以下のような業界の現状と課題が示されました。

- ・あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう（あはき）施術の受療率が低く、国民の約85%が未受療であるのに対し、整体は約25%以上の受療率があること。
- ・国家資格の取得者数の減少と、若年層の約3～4割が資格取得後5年以内に業界を離れている実態。
- ・鍼灸マッサージ専門学校卒業生の約8割が業界団体に未加入であるという事実。

こうした課題を踏まえ、今後は以下の目標のもと、全鍼師会が各部会を立ち上げ、会員を支援していく方針が示されました。

- 1 経済的に自立できる業界の構築
- 2 会員と非会員との明確な差別化
- 3 魅力ある業界づくり



15:00～16:30 講演会

- ・演題：「現代社会と心の健康」
- ・講師：JA長野厚生連 佐久総合病院 名誉院長・心療内科 伊藤 敏 先生

※当日は伊藤先生が急な体調不良により欠席されたため、急遽プログラムを変更し、狩野裕治先生による「質疑応答形式の意見交換会」が実施されました。参加会員との活発な意見交換が行われ、有意義な時間となりました。

第2日目 7月14日 (月)**9:00～10:30 全体会議**

司会進行は、長野県はり灸マッサージ師会理事長・臼井武文氏が担当。自由討議形式で進行されました。

冒頭、臼井理事長より、岐阜県の山田敏雄氏の長年の功績を称え、名誉顧問への推挙が提案されました。

また、各県からの意見や提案に加え、全鍼師会副会長 狩野先生がご出席であることから、中央組織への質問も受け付ける場となりました。

討議の中では以下のような話題が取り上げられました：

- ・代議員定数の見直しについての提案
- ・政治連盟への入会促進と年会費徴収の工夫
- ・長野県師会によるホームページ活用の具体的な事例紹介
- ・SNS（Instagram・YouTube・TikTok等）による情報発信や動画制作セミナー開催の要望
- ・岐阜県・飛騨ブロックにおける「ふるさと納税」を活用した集客方法の紹介（本県副会長 樋口より報告）

各県代表者から多くの前向きな意見が出され、非常に有意義な会議となりました。

最後に、次回開催地が三重県四日市市に決定されたことが報告され、三重県師会会長の挨拶をもって閉会いたしました。



令和7年度 第1回学術講習会 報告

7月27日（日）、岐阜県鍼灸マッサージ師会館において、「長谷川流鍼灸メソッド」創始者であり、鍼灸師としてご高名な長谷川吾朗先生をお招きし、演題「長谷川流鍼灸メソッド」にてご講演を賜りました。

多数の参加者が集う中、長谷川先生は終始丁寧かつ熱意あふれる講義を展開され、参加者一同、深い学びと刺激を得る貴重な時間となりました。



前半の座学では、脈状診・脈差診・四肢診・体幹診を通じて、臓腑および経絡の虚実を精確に見極める方法をご教授いただきました。

特に、長谷川先生が考案し、東京大学名誉教授・池田信雄氏の監修によって完成された診療カルテを用いた治療目標の設定方法については、多くの受講者が深く関心を寄せていました。

後半の実技では、参加者の中から被験者を選び、実際の体の状態を丁寧に診断しながら、治療点の導き方を実演していただきました。

また、コルクを用いたお灸の調整法や、長谷川先生独自に開発されたセルフ灸補助器具

「灸ピン」の紹介もあり、日常の臨床に即した内容が数多く盛り込まれていました。

中でも、先生の施術における特徴的な手法である「引き鍼」は、非常に興味深く、多くの参加者が「自身の施術に取り入れてみたい」と語っておられました。

最後には、予定時間を大きく超えてまで丁寧にご指導くださり、熱意あふれる実技指導に、参加者からは感嘆と感謝の声が相次ぎました。



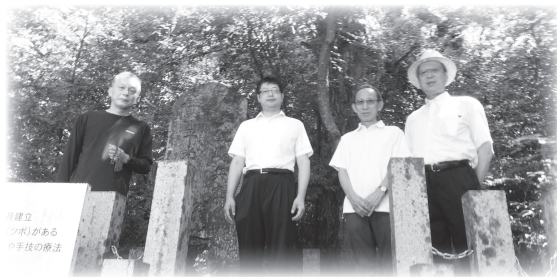
報 告

はり供養祭を開催

令和7年8月3日（日）岐阜市長森の善龍寺において針供養祭がしめやかに行われ会員多数が参加した。

はり供養祭は、日常使用している施術鍼に感謝すると共に衛生思想の徹底を図ること、公園内に設置してある記念碑の顕彰を目的に開催されます。

今年度は岐阜市岩戸公園内の「活経穴技」「鍼聖 平光一角 鏡島兵庫翁の碑」付近の清掃を有志の方で行っていただきました。活経穴碑付近は綺麗な状態にできました。ご協力に感謝いたします。



ボランティア活動のお願い

当会は、公益社団法人ということでボランティア活動をより積極的に行いたいと思います。会員の方で ボランティア活動先の情報や参加希望がありましたら会長 松尾将典にメールか LINE で教えてください。

尚、参加時の交通費は、施術者としてボランティアに参加された先生お一人様3,000円になりましたので 奮ってご参加ください。

